備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度		昭和46年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	16 火葬場・墓地
事務事業名			01 斎場維持管理事業

根拠法令・例規等		備前市葬儀条例及び規則、日生町営斎場及び葬祭事業に関する条例及び規則
問合先	担当課（室）	環境課
	職・氏名	衛生係長・柴垣桂介
	電話	64-1821
このシート作成に要した時間		1.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民（祭壇・霊柩車については備前地域のみ） 斎場を利用する市外の利用者
目的（何のために）	適正な火葬及び祭壇業務の執行。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
備前斎場維持管理事業	適正に火葬を執行するために備前斎場・霊柩車等の維持管理を行う。	◎
日生斎場維持管理事業	適正に火葬を執行するために日生斎場・霊柩車等の維持管理を行う。	◎
県トラック協会会費	県内の営業用自動車所有者で組織されている岡山県トラック協会の会費	▲

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	32,787	25,822	24,784
	必要人員 人件費	千円	2.16人 12,582	2.15人 12,712	2.16人 12,791
	事業費計	千円	45,369	38,534	37,575
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	6,699	6,928	6,635
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	38,670	31,606	30,940
受益者負担比率		%	14.8%	18.0%	17.7%

結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
説明		備前斎場及び日生斎場の1年間の火葬執行件数		
結果指標 結果指標量	件	421	467	461
対前年比	%		110.9%	98.7%
活動コスト	円	45,335,000	38,500,000	37,542,000
単位当たりコスト	円	107,684	82,441	81,436

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
	目標値（A）				
	実績値（B）				到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標設定の考え方・式や説明

斎場維持管理業務は、成果指標となる判断基準が無い。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性 必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ■ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高いや高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**A**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高いや高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度 市民参画度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- ■ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高いや高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：各火葬炉施設の適正な維持補修整備を行う。また、和気北部衛生施設組合で実施している吉永地域の動向に注視しながら、施設の統合を検討する。祭壇、霊柩業務については、地域間で異なるサービスの内容を見直す。

総合評価

施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇・霊柩業務については廃止の方向で検討したが、議会で否決された。しかし、地域間で異なるサービスを実施していることもあり、内容を見直す必要がある。

総合評価（A 高いや高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：
各葬炉施設の補修整備を行う。
施設の統合を検討する。
祭壇・霊柩業務については内容を見直す。